

みんなのぎかい

すもと市議会だより

2017.7.15 Vol.44



洲本の夏 にぎわいの夏 安心の夏
大浜海水浴場での
水難救助訓練

CONTENTS

- 6月定例会の概要・議会日程……………(2)
- 一般質問……………(3)~(7)
- 常任委員会の動き……………(8)~(10)
- 議決結果一覧・表彰……………(11)
- 議員研修・編集後記……………(12)



瀧川好美氏の名誉市民選定に同意

6月定例市議会は16日に開会し、専決処分の承認や報告、特別会計補正予算・条例改正など報告13件、議案8件を審議しました。

報告案件の内容は、承認案件として、消防団員等の公務災害補償条例や、国民健康保険税条例をはじめ、市職員の特殊勤務手当・育児休業に關連する条例改正など7件、残りは損害賠償額の決定と和解など6件であり、承認案件は、全会一致で承認されました。

瀧川好美氏の経歴

昭和11年7月24日生
平成29年1月7日没

- ・淡路信用金庫会長
- ・洲本市都市計画審議会委員
- ・洲本市国土利用計画策定委員会委員
- ・洲本商工会議所会頭
- ・(財)淡路21世紀協合理事長
- ・(一財)淡路島くにうみ協合理事長
- ・(公社)淡路納税協会会長



▲会員制ホテル運営企業に売却される市有地（航空写真）

議案第44号から第50号までの7議案については、各常任委員会が開催され、担当する部署より詳しい説明を受け慎重審議を行いました。

本会議で委員会審査の報告を受けた後、全会一致で可決されました。

主な議案は、都志万歳の市有地の処分、公共下水道炬口ポンプ場及び炬口ポンプ場流入幹線の建設にかかる工事委託契約締結、洲本図書館と五色図書館の休館日を変更する条例改正などです。

また、瀧川好美氏の洲本市名誉市民選定についての議案は、全会一致で同意されました。

議会日程

- 6月9日 告示 常任委員長会
- 6月13日 議会運営委員会
議会報編集特別委員会
- 6月16日 **本会議第1日**
総務常任委員会
教育民生常任委員会
- 6月20日 **本会議第2日**（一般質問5議員）
議会運営委員会
- 6月21日 **本会議第3日**（一般質問4議員）
- 6月22日 教育民生常任委員会
- 6月23日 産業建設常任委員会
- 6月26日 総務常任委員会
- 6月28日 **本会議第4日**（採決）
- 7月5日 議会報編集特別委員会



洲本図書館



五色図書館

▲洲本図書館は月曜日、五色図書館は水曜日に休館日が変更（10月から実施）

スバ!!! ここが聞きたい

平 郡 平 P.8

- 「続日本100名城」選定を受け、洲本城跡の活用について

片 岡 格 P.9

- 子ども・子育て支援について
- 防災対策について
- 環境問題について

廣 田 恵 三 P.9

- 県道洲本灘賀集線の安全対策について
- 由良の諸問題について

中 野 睦 子 P.10

- 本市の人口減少対策及び交流人口増加策について

近 藤 昭 文 P.10

- 国保の広域化・都道府県化について
- 再生可能エネルギーの普及について
- 学芸員の業務・配置について

先 田 正 一 P.11

- ご当地ナンバープレートについて
- 教育現場の課題について
- 福祉施策について

小 野 章 二 P.11

- 優しさを感じる市政運営について
- 淡路3市の連携について
- シティプロモーションについて

間 森 和 生 P.12

- 公共交通について
- 産業振興と地域活性化について
- 学校教育について

岡 崎 稔 P.12

- 活性化対策について
- 防災対策について

※ここに表示した質問項目は、定例会議で実際におこなった質問を全て記載してあります。ただし、各記事に全ての質問・答弁が掲載されているとは限りません。
定例会議の会議録は市の図書館でご覧いただくか、市ホームページ内の市議会会議録検索をご覧ください。
なお、掲載時期については、定例会議終了からおおよそ2カ月後の予定で議会事務局ホームページにてお知らせいたします。

Q 歴史的景観保護の観点から樹木対

文化財保護の見解と対策

文化財保護の見解と対策
洲本城跡の魅力を引き出したい。(産業振興部長)

A 洲本城跡が国立公園内にあり、国史跡の指定を受けている。また、保安林の指定もあり、関係機関の許可申請などの手続きや、希少植物の保護も必要。樹木伐採は日常的な維持管理を行いたい。本格的な伐採については、伐採計画を関係機関と協議しながら今年度策定予定であり、洲本城跡の魅力を引き出したい。(産業振興部長)

積極的な伐採を

Q 遺跡を持つ公園としての管理や対策は。

A 遺跡を持つ公園としての管理や対策は。洲本城跡が国立公園内にあり、国史跡の指定を受けている。また、保安林の指定もあり、関係機関の許可申請などの手続きや、希少植物の保護も必要。樹木伐採は日常的な維持管理を行いたい。本格的な伐採については、伐採計画を関係機関と協議しながら今年度策定予定であり、洲本城跡の魅力を引き出したい。(産業振興部長)

策、石垣保護は。また登り石垣の活用は。

A 植生の保護、石垣の保全、三熊山を含め全体の景観、これらのバランスを取りながら整備を進めて行く。

A 登り石垣については、洲本城を構築する貴重な史跡であり、将来的には修復が必要な箇所と認識している。(教育長)

新たな財政面対策を

Q 城跡保護と公園整備の財政面の支援は。

A 財源スキームを含め、十分協議の上、必要な事業に適切な予算措置を行う。財源は、国や県の補助金や市債、市民からの寄附金、ふるさと納税の



▲史跡を守ろう

A 市民全員が、洲本城跡に関心と知識を持つて、洲本城跡の良さを認識してもらうことが大切。(市長)

誰にも負けない思い

Q 洲本城跡に対する熱き思いは。

A 洲本城跡に対しては、熱い熱意を持つて対応。

充分など、幅広く検討したい。(理事)



平 郡 平 (市長)

「続日本100名城」選定は
飛躍のチャンス



土砂災害警戒区域、 国・県とも協議し救済方法を

片岡 格 (日本共産党)

子ども・子育て支援

Q 建設予定の認定こども園の進捗状況は。

A 設計業者が決定し、内部協議を重ね、現在基本設計に取り組んでいるところである。(健康福祉部長)

Q 現在5園ある幼稚園を統廃合するとの話であるが、再編の理由は。

A 少子化の進行と、女性の社会進出など、就労形態が変わり、保育を必要とし、幼稚園へ通わせる家庭が減少している。(教育長)

保育料の引き下げを

Q 5月に行われた島内3市長による懇話会で、市長は「保

育料などの格差があるのは好ましくない、今後は南あわじ市の水準に合わせる」という発言があったが、真意は。

A 底辺のインフラ整備は一緒に、同じレベルにした方がいいという認識である。(市長)

防災対策

Q 土砂災害警戒区域の指定地域で、民家に山裾が迫り樹木が屋根にかぶさり、いつ倒木してもおかしくない危険な状況にある。何らかの救済法がないのか。

A 非常に頭の痛い問題であり、苦慮している。抜本的な方針を示す状況にない。(都市整備部長)



▲民家に迫る山裾と樹木、安全対策を

Q 何らかの救済法を国・県と協議しているのでは。

A 法整備が出来、対応が出来ればありがたいが、苦慮しているのが現状である。(都市整備部長)

環境問題では、ナルトサワギクの除去対策、大型ごみなどの不法投棄監視カメラの貸し出し制度の積極的な活用などを求めました。

Q 小路谷のホテル街だが、観光客やホテルの従業員など歩行者も多いことから、電柱の地中化などで少しでも安全に通行が出来るようにお願いしたい。

A 現状では歩道の整備は難しい。側溝の蓋掛けやグリーンベルトの設置など、歩行者、自転車の安全確保の対応を兵庫県に働きかけていきたい。(都市整備部長)

Q 小路谷のホテル街周辺だが、街灯が少なく非常に暗く危険である。対策は。

A 道路照明の設置は難しいが、町内会からの要望があれば、公設防犯灯という制度による設置も考えられ



洲本灘賀集線の安全対策を

廣田 恵三 (市民みどりの会)

Q 鹿との接触事故が多発している。

A 鹿との接触事故データの蓄積を踏まえ、兵庫県と協議していきたい。(都市整備部長)

Q 由良地区の空き家の現状は。

A 本年3月末では空き家が395件で、敷地外に危険を及ぼす恐れのある空き家は71件。(都市整備部参事)

Q 本年3月に、由良2丁目の相続人不在の建物に対して略式代執行による除却が行われた。跡地の所有者と管理者は。

A 所有者も管理者もいない状態である。このような問題に対する国の方向性が示されるのを期待している。(都市整備部参事)

Q 江後の船溜まりには多くの船舶が放置された状態となっているが、対策は。

A 管理者である兵庫県と対応を相談していく。(都市整備部長)



▲由良・江後の船溜まり



中野 睦子 (志)

「すもと」の魅力を
バンバンPR!

人口減少対策及び
交流人口増加策

Q 職の確保は。(就農支援)

A これまで、新規就農セミナーや地域おこし協力隊制度を活用した、就農希望者の農業体験制度の導入や、研修期間中の滞在拠点の整備を進めてきた。

今年度からは市内の認定農業者による親方農家制度を本格的にスタートさせ、就農希望者と親方農家のマッチングを図る。

住居に関する空き家バンク制度、農地に関する農地中間管理機構制度、栽培技術に関する親方農家制度、また倉庫・機械のマッチング支援制度など、基本的

なものはひと通り整備出来た。(産業振興部次長)

Q 母子健康包括支援センターの立ち上がりは。

A 本年4月から立ち上げ、母子保健コーディネーターを専任配置した。妊娠に関する相談や必要に応じて家族との調整を行うなど妊娠期から子育て期に至るまで、支援が必要な妊婦が孤立することのないよう、安心して子育てができるよう、寄り添っていく。

(健康福祉部長)

Q 本市にしかない「こと」も「こと」は。

A 多くの素材がある中、「こと」の夏、



▲開催が待ち遠しい!

まちと人物、ふるさと産品などを繋げた「ふるさと洲本もっともつと応援大感謝祭」を開催。スタンプリリーやドラゴンクエストミュージアムセレクトシヨンプ淡路島・洲本の開催など、洲本の魅力を発信する。(企画情報部長)

なお今回は、職・住まい・婚活応援・交流人口の増加について・観光力アップについて・暮らしやすい環境の保全について、質問しました。



近藤 昭文 (日本共産党)

国民健康保険税の
被保険者の負担軽減を

国民健康保険税の
広域化・都道府県化

Q 各市町の国保は、平成30年度から都道府県が決めた「納付金」に基づき徴収することになるが、どのような基準で算定するのか。

A 県が医療費などを見込み、必要な総額を定め、市町被保険者数、所得水準で案分し、医療費水準を反映し、市町ごとに「納付金」を算定する。

(市民生活部長)

Q 被保険者の負担軽減を図るための、本市の対応策は。

A 特定健診・特定保健指導の実施率の向上など医療費の適正化に努めたい。

(市民生活部長)

Q 1980年代と比べて、国庫負担率が50%から現在は25%まで削減され続け、国民負担が増えてきた。根本的には、国庫負担を引き上げることであり、本市としても増額に向けて強く働きかけをお願いしたい。

A 近畿市長会、全国市長会などを通じて、国へ財政支援の更なる強化を要望している。(市民生活部長)

Q 再生可能エネルギーの普及

ため池利用の太陽光発電施設で、今後の計画、地元調整は進んでいるのか。ため池の場合、土砂が流入するが、土砂しゅんせつなどは。



▲塔下新池ため池ソーラー発電施設

その他、洋上風力発電計画、学芸員の業務配置について質問しました。

A 現在、地元調整のため池があり、他に2集落から実施の意向がある。しゅんせつは、固定価格買取制度の適用期間である約20年間は池全面では難しいが、部分的なしゅんせつ工事は可能。(産業振興部次長)



先田 正一 (公明党)

自動車のご当地ナンバープレート 交付を要望

ご当地ナンバー

Q 原付ナンバープレートの交付状況は。

A 4月3日から交付となり、現在、新規登録が110台。交換が39台うち公用車7台を含む合計149台。



▲洲本らしいデザインの新原付ナンバープレート

Q 自動車のご当地ナンバープレート交付は。

A 現在「奄美」「つくば」「や」「富士山」といった地域名がある。導入事例を今後検討・研究する。(企画情報部長)

教育現場の課題

Q 私立小・中学校などに経済的理由で通う事ができない生徒児童への支援は。

A 支援に関する文部科学省の実証事業が平成29年度よりスタート。

私立小・中学校に通う児童生徒を持つ世帯への経済的支援として授業料負担の軽減を行うしつつ、義務教育において私立学校を選択している理由や、家庭の経済状況などを実態把握するための調査を行うものである。申請書類などは県庁の私学教育課から直接、私学の学校法人へ送付されている。(教育次長)

図書館の休館日変更は。

Q 洲本図書館、五色図書館の休館日は、ともに月曜日である。今後は五色図書館を水曜日に変更、曜日を問わず市内図書館を利用可能にする。

A 洲本図書館、五色図書館の休館日は、ともに月曜日である。今後は五色図書館を水曜日に変更、曜日を問わず市内図書館を利用可能にする。(教育次長)

福祉施策

がん対策は。

Q 本市では、まず検診受診率向上を推進。その結果、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がんなどいずれも県平均を上回る。第3期がん対策推進基本計画が策定されたら、市が担うべき役割を果たすべく、がん対策を進めてまいりたい。(健康福祉部長)

公共施設の運営

Q 新庁舎完成に伴い、より市民へのサービスが、求められる中、本庁だけでなく本市が抱える公共施設においての、優しさを感ずる運営は。

A 健康福祉部は、市民のすべてのライフステージにかかわっている。使用する施設についても、事故が起きないように安全に配慮した「人にやさしい」ものでありたいと考えている。(健康福祉部長)



小野 章二 (志)

接遇面の充実で、 美しい・優しいまちづくりを

シティプロモーション

Q ふるさと納税の返礼品競争について、過熱きまこのこと。総務省から指導が来ているが、その対応は。

A ふるさと納税本来の趣旨を踏まえ、総務省からの通知に示された取り扱いに沿うよう、今後とも良識ある対応に努める。(企画情報部長)

淡路3市の連携事業

Q 外から見れば、淡路は一つの観点から、いずれ来る淡路島一市への環境整備が叫ばれている。その



▲ふるさと納税返礼品のドラゴンクエストグッズ



公共交通空白地域の解消を急げ

間 森 和 生 (日本共産党)

公共交通

Q 割引運賃や回数券の導入など、もっと利用しやすいコミバスにできないか。また空白地域の解消計画は。

A 地域のみなさんの意見を踏まえて検討していきたい。空白地域である大野・鮎屋・千草地域、安平・中川原地域、五色地域については意見を伺っているところである。

Q 割引運賃や回数券の導入など、もっと利用しやすいコミバスにできないか。また空白地域の解消計画は。

A それぞれの地域を結び交通の連携が課題になると考えている。(企画情報部長)

Q 関空航路や、深日航路再開で、港からの交通アクセスの整備は。

A 観光移動支援事業で、観光につながる民間支援などを考えている。(企画情報部長)

Q 都志地区に会員制リゾートが進出予定。五色地域の観光の活性化は。また、五色庁舎の活用も。

A 西浦には観光施設など数多くある。滞在型観光が進むのではないかと考えている。(産業振興部長)

Q 都志地区に会員制リゾートが進出予定。五色地域の観光の活性化は。また、五色庁舎の活用も。

A 五色庁舎の活用については、地元の方も参画していただく、検討委員会を設置したところである。(五色総合事務所長)



▲4月から運行が開始された五色コミバス

都志地域の活性化

Q 都志地区に会員制リゾートが進出予定。五色地域の観光の活性化は。また、五色庁舎の活用も。

A 西浦には観光施設など数多くある。滞在型観光が進むのではないかと考えている。(産業振興部長)

Q 都志地区に会員制リゾートが進出予定。五色地域の観光の活性化は。また、五色庁舎の活用も。

A 五色庁舎の活用については、地元の方も参画していただく、検討委員会を設置したところである。(五色総合事務所長)

Q このほか、英語・道徳の教科化で、先生や子どもの負担が増えないよう条件整備を要望した。

A このほか、英語・道徳の教科化で、先生や子どもの負担が増えないよう条件整備を要望した。

Q このほか、英語・道徳の教科化で、先生や子どもの負担が増えないよう条件整備を要望した。

A このほか、英語・道徳の教科化で、先生や子どもの負担が増えないよう条件整備を要望した。



本市応援団の寄附金と基金助成事業で集落の再生を

岡 崎 稔 (公明党)

Q ふるさと納税の総務省通知にかかる財政面への影響は。

A 財源確保の目的ではなく、洲本の秀逸な特産品の魅力をPRすることで支援、サポートしてくれる応援団を増すことを第一としている。寄附額の多寡に一喜一憂することなく、引き続き、応援団の獲得に努めて参りたい。(理事)

Q つながり基金助成事業を、もっと多くの各種団体に活用いただくための、意見や議論、また、対象団体の拡充を。

A 申請にあたり、相談を受ける中で、意見を伺いながら、審査委員会で検討し、調整を加え反映している。

Q 総務省通知にかかる財政面への影響は。

A 財源確保の目的ではなく、洲本の秀逸な特産品の魅力をPRすることで支援、サポートしてくれる応援団を増すことを第一としている。寄附額の多寡に一喜一憂することなく、引き続き、応援団の獲得に努めて参りたい。(理事)

Q つながり基金助成事業を、もっと多くの各種団体に活用いただくための、意見や議論、また、対象団体の拡充を。

A 申請にあたり、相談を受ける中で、意見を伺いながら、審査委員会で検討し、調整を加え反映している。

Q 総務省通知にかかる財政面への影響は。

A 財源確保の目的ではなく、洲本の秀逸な特産品の魅力をPRすることで支援、サポートしてくれる応援団を増すことを第一としている。寄附額の多寡に一喜一憂することなく、引き続き、応援団の獲得に努めて参りたい。(理事)

Q 拡充は、実績・効果を踏まえ、今後検討していきたい。

Q 航路復活に本市として、どのように社会実験運航に取り組むのか。

A 創生交付金の活用事業で、共に事業に加わっている。事務分担任事業者との契約や許可申請などは、岬町が行う。洲本側の運航に係る事務、発券所に伴う什器備品などへの対応は本市で行う。運航の通知、イベント

Q 水防指定河川の洲本川、都志川の氾濫水位見直しと情報体制は。

A 基準水位の見直しにより、避難判断水位で避難準備と高齢者などの避難開始、氾濫危険水位で避難勧告となり、水位観測システムなどで水位が判断基準に達した時、ホットラインで県より、連絡が来ることとなっている。(総務部長)

Q 航路復活に本市として、どのように社会実験運航に取り組むのか。

A 創生交付金の活用事業で、共に事業に加わっている。事務分担任事業者との契約や許可申請などは、岬町が行う。洲本側の運航に係る事務、発券所に伴う什器備品などへの対応は本市で行う。運航の通知、イベント



▲洲本川の水位を監視しているカメラ

議案審査

総務常任委員会

企業誘致に関連する土地処分についての議案などを審査

6月16日に委員会を開催し、専決処分の承認について4件、また26日に議案3件の審査を行い、担当部署より詳細な説明を受けすべての議案を全会一致で承認・可決すべきものと決しました。

◎ 税条例の改正による税収への影響は。

〔A〕(財務部) 軽自動車税のグリーン化特例が2年間延長されたことにより、軽減分が減収となるが、固定資産税関係については、現在、軽減に該当し減収となるような事案はありません。

◎ 職員の育児休業に関する条例改正について、保育所などが受け入れてくれなかった場合は延長できるのか、その期

間は決められているのか。

〔A〕(総務部) 現行の育児休業期間内の相当期間(保育所など)の受け入れが可能となるまで)

が延長可能。具体的な延長の期間については個々の実情によって異なることから、一律的に期間は定められていない。

◎ 消防団の公務災害補償は改正後にはどうなるのか。

〔A〕(総務部) 扶養対象者によって補償の増減が生じる。

◎ 五色町都志万歳にできる会員制リゾートホテル完成図について、売買価格の決定に不動産鑑定評価などを取り参考としているのか。

〔A〕(企画部) 以前の不動産鑑定評価額を現時点に修正して、その価格を売買価格の参考にしている。



▲五色町都志万歳にできる会員制リゾートホテル完成図

所管事務調査

総務常任委員会

防犯灯LED化事業などを調査

5月10日に常任委員会を開催し、組織改編の説明及び防犯灯LED化事業、U・I・Jターナー若者雇用奨励金交付事業、IP無線機整備事業、固定資産(土地)の評価(時点修正)など、所管する主要事業16項目について、担当部署より事業の概要及び今後の計画について詳細な説明を受け、質疑を行いました。

◎ 防犯灯(町内会契約数4,671灯)の現況調査は、町内会に委託するのか。

〔A〕(企画部) 事業者で行う。現況調査をしながら、台帳化されていない場合、協力を依頼する場合もあります。

◎ U・I・Jターナー若者雇用奨励金交付事業の対象となる若者へのPRは。

〔A〕(企画部) お帰りなさいプロジェクト拡充の事業者版として、市内事業者に協力していただき、若者の雇用の受け皿の拡大と定住人口の増加を図る事業であり、事業者を対象としている。

◎ ハザードマップ発行後、新たに指定された土砂災害警戒区域は。

〔A〕(総務部) 平成28年度は、電子ハザードマップに特別警戒区域36カ所、警戒区域9カ所が追加されている。

◎ 土地の総評価額が、2.95%減少しているが、減収額は。

〔A〕(財務部) 平成28年度と比較して、土地に対する固定資産税の税収は約2,105万円の減収となる。



▲防犯灯

議案審査

教育民生常任委員会

特別会計補正予算 条例の改正などを 審査

6月16日に委員会を開催し、

専決処分された、平成29年度国民健康保険特別会計、及び介護保険特別会計の補正予算と、国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定についての3件を、担当部署より説明を受け、全会一致で承認すべきものと決しました。

障害者のコミュニケーション手段等の
選択の機会の確保及び拡大に関する条例

ここからはじまる
つながり 共生 尊厳

実感できる社会を
目指して

条例の全文は、本市のホームページで確認できます。

洲本市 障害者 コミュニケーション条例 検索

▲コミュニケーション条例の啓発用のパンフレット

また、6月22日に委員会を開催し、福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定と、図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定についての2件を慎重審査した結果、全会一致で可決すべきものと決しました。各委員より出された質疑は以下のとおりです。

- Q 直営診療所における、単年度の歳入歳出の推移は。
- A〔福祉部〕直営診療所勘定は赤字で推移している。

審議前に、3月議会での常任委員会報告の中の要望事

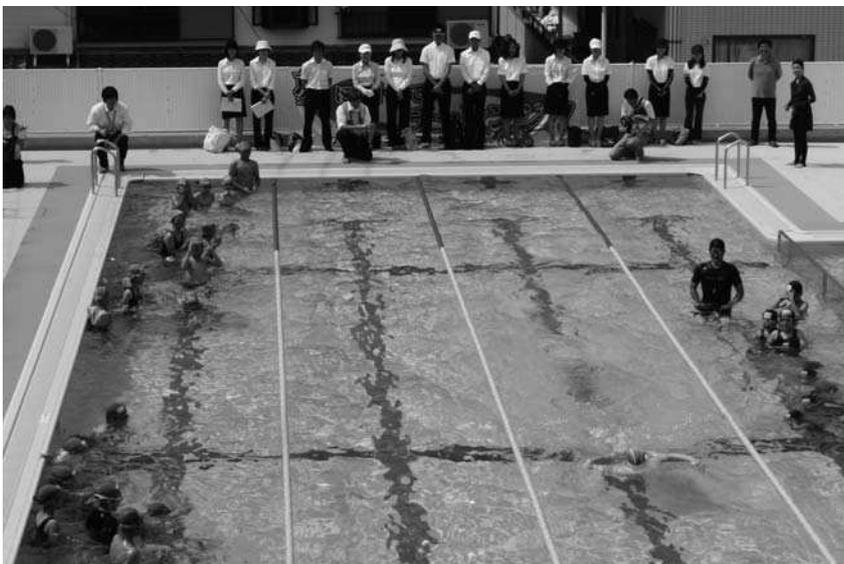
所管事務調査

教育民生常任委員会

放課後児童クラブ 運営事業など11件 を調査

項である、障害者のコミュニケーション手段等の選択の機会の確保及び拡大に関する条例について、広く市民に周知されるよう要望。結果、4月号と5月号の広報誌並びに、リーフレットを作成し、周知を図ったとの報告がありました。

5月8日に常任委員会を開催し、市民生活部からは、諸証明コンビニ交付事業（個人番号カードを使用することで、住民票などがコンビニで受け取れる）、環境学習推進事業（エコひろば洲本での環境教室や環境講演会を実施する）などについて説明がありました。健康福祉部からは、放課後児童クラブ運営事業（9校区



▲6月23日に完成した由良小学校プール

10スクールで放課後の遊び及び生活の場の提供）、直営診療所の運営（直営診療所や応急診療所の運営）などについて説明がありました。

また、教育委員会からは、未来を奏でる吹奏楽応援事業（遊休楽器の寄附を募り活用する）、すもとeパートナープロジェクト事業（推進学級でタブレットを活用した授業研究

などを行う）、スポーツ未来島構想事業（スポーツを通じて魅力と活力あるまちづくりを推進するために、若者によるプロジェクトチームを立ち上げ企画立案を行う）などについて説明がありました。

これらの事業について各委員から質疑を行い、進捗状況を調査しました。

議案審査

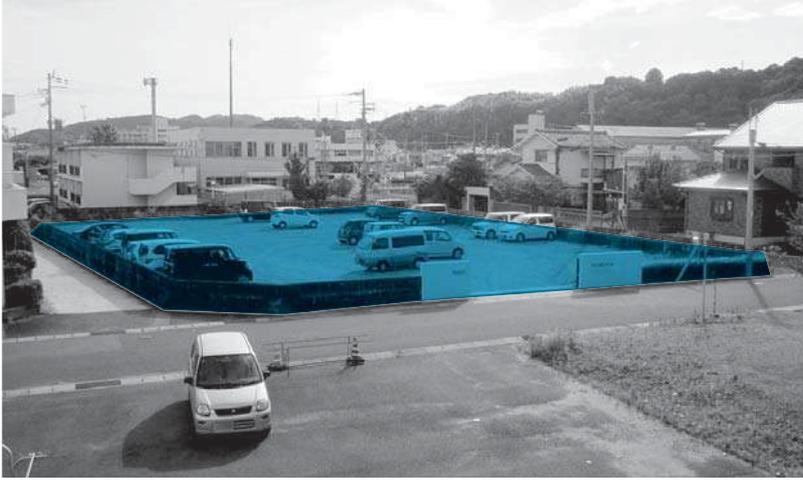
産業建設常任委員会

市道認定など 議案2件を審査

◎物部三丁目の分譲地内の道路を市道認定する議案が提案されているが、分譲地でも市道認定されていない道路もある。違いは何か。

①〔整備部〕都市計画法で本市における3,000㎡以上の開発については、市との事前協議が必要であり、基準に適合する道路について、市道認定を行っている。

◎洲本市公共下水道炬口ポンプ場及び炬口ポンプ場流入幹線の建設工事委託契約について16億円が計上されているが、完成時期は。



▲炬口ポンプ場建設予定地（青色部分）

①〔整備部〕平成32年度を予定している。
◎炬口ポンプ場が完成すれば、どの程度の雨量に対応できるのか。

①〔整備部〕時間雨量60・5mmを想定しているが、ゲリラ豪雨により瞬間雨量がそれ以上になっても、一定程度対応できると考えている。

所管事務調査

産業建設常任委員会

太郎池の改修工事 など現地調査

5月9日に常任委員会を開催しました。委員会では、担当部署より平成29年度の組織の概要と、主な事業について詳細な説明を受け、質疑を行いました。

産業振興部からは、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業、ため池整備、炬口漁港海岸防潮堤整備事業など、内容や進捗状況の説明がありました。

都市整備部からは、（仮称）中川原スマートインターチェンジの整備状況、市道



▲太郎池の改修工事を調査

宇原千草線の道路改良工事、炬口ポンプ場建設工事などについて説明がありました。これらの事業について、各委員から詳細にわたり質疑を行い、事業内容や進捗状況を調査しました。
審査終了後、予定されている炬口ポンプ場（炬口一丁目）の建設場所と、太郎池（物部）の改修工事の現状を調査しました。

知っておきたい

議 会 用 語

所管事務調査

常任委員会は、議会に提案された議案などを専門的に審査し、その結果を議会に報告し、議会としての最終的な意思決定に資することを主な任務としており、本市議会には、総務・教育民生・産業建設の3つの常任委員会

が設置されています。

また、常任委員会は、担当する部署に関する事務について能動的に調査を行う権限も有しており、これを「所管事務調査」と言います。



議決結果一覧

全会一致により承認・可決・同意

件 名		
市長提出	報告第4号	洲本市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正
市長提出	報告第5号	洲本市国民健康保険税条例の一部を改正
市長提出	報告第6号	洲本市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正
市長提出	報告第7号	洲本市職員の育児休業等に関する条例及び洲本市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び洲本市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正
市長提出	報告第8号	洲本市税条例及び洲本市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正
市長提出	報告第9号	平成29年度洲本市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
市長提出	報告第10号	平成29年度洲本市介護保険特別会計補正予算（第1号）
市長提出	議案第44号	平成29年度洲本市土地取得造成特別会計補正予算（第1号）
市長提出	議案第45号	洲本市税条例等の一部を改正
市長提出	議案第46号	洲本市福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正
市長提出	議案第47号	洲本市立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正
市長提出	議案第48号	財産の処分（五色町都志万歳：企業誘致）
市長提出	議案第49号	洲本市公共下水道炬口ポンプ場及び炬口ポンプ場流入幹線の建設工事委託契約締結
市長提出	議案第50号	市道路線の変更（卓才線）
市長提出	議案第51号	洲本市名誉市民の選定

※表記は、正式な名称ではありません。

表彰

5月24日に開催された全国市議会議長会第93回定期総会において、当市議会議員の3名が永年勤続表彰を受け、また、全国市議会議長会評議員を務められた当市議会議員1名に感謝状が、6月の定例市議会第1日目に伝達されました。

- 20年表彰
 - ・地村 耕一良 議員
 - ・小松 茂 議員
- 15年表彰
 - ・木下 義寿 議員
- 感謝状
 - ・山本 和彦 議員

お詫言ひ

4月15日発行の市議会だより第43号におきまして誤りがありました。正しくは以下のとおりです。

- *5ページ「総務常任委員会」での議案審査のうち
立休駐車場の入札結果の記事のうち
(誤)工期は6月20日から11月20日である
(正)工期は6月27日から11月27日である

ご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

議員研修

平成29年度 淡路経営プログラム (淡路島の元気づくり)

◆4月25日

本年4月より兵庫県淡路県民局長に就任された吉村文章氏より、平成29年度淡路地域経営プログラム「淡路島の元

気づくり」と題して、淡路島活性化に向けた本年度の淡路県民局の取り組みについて講演いただきました。

具体的には、「北前船寄港地フォーラムin淡路島」や「御食国・和食の祭典in淡路島」などのイベント開催。農林水産業の活性化、新たな島民増加に向けた取り組み、総合治水対策や津波防災インフラ整備計画など、積極的に事業推進をしていただいています。



▲淡路島の元気づくりについて研修

本市の犯罪と 交通事故の状況について

◆5月26日

今春より洲本警察署長に就任された松田哲也氏より、最近の本市における犯罪と交通事故などの状況について説明を受けました。

犯罪の発生状況については、全体的には減少傾向であるものの、窃盗や空き巣が減少する一方で、暴行や傷害事件は



▲本市における犯罪や交通事故などについて研修

増加しています。

窃盗や空き巣に対する防犯対策としては、家の鍵は在宅中でも必ず掛け、自転車やオートバイにはツーロックが有効です。交通事故についても年々減少傾向でしたが、本年は昨年比べやや多くなっています。近年、週末にはサイクリングなどの観光客が多くなり、本市の交通情勢も大きく変わってきているので、さらなる注意が必要とのことでした。

編集後記

◆田植えも終わり、新緑が鮮やかとなり、淡路島にとって夏の観光シーズン幕開けの季節となりました。◆シーズンを迎え、洲本港―深日港を結ぶ航路の有効性・必要性を探るための社会実験運航として、6月25日より9月下旬まで1日8便（4往復）運航されています。淡路島への交通手段として、また島民の大阪方面への足として、多くの方々に利用をお願いするとともに、交流人口の増加につながるものと期待しています。また、洲本港―関空を結ぶ定期航路が復活し、こちらも期待しています。◆今回の市議会だよりから、議会報編集特別委員会新メンバーによる編集作業となり、なれない作業ですが、見やすく、分かりやすい誌面作り心がけてまいります。市議会だよりに対する、皆様方からのご感想・ご意見などいただければと思っています。よろしくお願ひ致します。（上田）